

馬に託した願いと春日大社

講話 春日大社宮司 花山院 弘匡



流鏑馬騎馬木像 平安時代

三月の春日祭、御馬牽廻は朝廷から献じられた馬を披露する神事。また、十二月のおん祭、お渡り式には五十頭の馬が登場し、競馬・流鏑馬などの神事がありますが、これらは古代に起因致します。平安時代には藤原道長など貴族達は、春日社に献ずる馬を先ず京都でお披露目し、後に春日社の参道にて競馬や走馬を行いました。

また、国宝春日大社本殿御間塀には日本最古の大型絵馬が描かれたり、摂社三十八所神社にかつて納められていた流鏑馬騎馬木像など、馬を題材とする文化財も多くあります。

令和八年午歳にあたり、春日の神様に馬を託して願ったお話を詳しく語ります。

令和8年1月21日(水)開催

時間 午前9時15分ごろ～ 受付開始

場所 感謝共生の館

会費 1,000円 (当日受付にてお納めください)

* ご参加の方は公共交通機関 (バス・電車) をご利用ください。
お車でお越しの場合は、別途駐車料金 (¥1500) が必要です。
* 当日の状況により、予定内容を変更することがございます。

<当日の予定>

受付 9:15

旬祭参列 10:00

講話 11:30

▼住所・氏名・電話番号・参加人数をお知らせください

◆お申し込みはハガキ・FAX・メールで◆お問い合わせはお電話で

春日大社教化部

630-8212奈良市春日野町160

<https://www.kasugataisha.or.jp/>

TEL:0742-22-7788

FAX:0742-27-2114

Mail:kyouka@kasugataisha.or.jp

